

武蔵野美術大学大学院

造形構想研究科 博士後期課程

2027 年度学生募集要項

入学試験に関する問い合わせ、出願資料提出先

武蔵野美術大学入学センター

〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736

電話:042-342-6995(日曜・祝日を除く 9:00~16:30)

Email:nyushi@musabi.ac.jp

試験日当日を含め受験生へのお知らせは大学 web サイトに掲載します。

<https://www.musabi.ac.jp/>

生成 AI に関する取扱い

武蔵野美術大学ではクリエイティブの可能性を探るうえで、学生が生成 AI を活用することに一定の意義を見いだしています。ただし、それはみなさんが「学びとは何か」を自ら考えるための一つの手段として生成 AI を用いることを推奨するものであり、ものづくりや思考を AI に代行させることを認めるものではありません。

また、生成 AI の利用には、個人情報の漏えいや著作権侵害のリスクが伴います。さらに、AI が出力する内容には誤った情報や偏った表現が含まれることもあります。そのため、常に内容を確認し、自分の判断で活用する姿勢が大切です。

こうした点をふまえ、入学選抜では生成系 AI ツールにより生成された作品、文章等をそのまま複製・転載・貼付したものは受験生本人の成果物とはみなしません(生成 AI が作成した文章や回答の語尾や言い回しの一部を変えたり、構成の順序を入れ替える程度の改変も「そのままの利用」に含まれます)。自らの責任において十分に考え、制作したものを提出してください。

1. アドミッションポリシー

造形構想研究科 博士後期課程 造形構想専攻

造形構想研究科博士後期課程では、現代社会が未来に向けて必要とする、高度な創造的思考力を修得した上で、様々な社会問題の解決や新しい仕組みづくりで強力なリーダーシップを発揮する人材、もしくは芸術とテクノロジー分野を融合し、新たなメディア表現と社会装置化によって創造的イノベーションを起こしうる人材を養成することを目的としています。

- 研究者または教育者を旨とし、サービスやデザインの新たな価値創出、またはメディア表現の領域で学問的体系を構築するための基礎的な能力・経験を持つ人
- サービスデザインやデザインビジネス分野において、新たな社会的価値や事業構想を具現化するための基礎的な能力・経験を持つ人
- 映像・写真分野を中心に新たなメディア表現と社会装置化を探究するための基礎的な能力・経験を持つ人

2. 出願にあたっての注意

- 出願書類に不備があった場合は、出願が無効となる場合があります。
- 出願書類に虚偽の記載があった場合、合格を取り消すことがあります。
- 受理した出願書類および検定料は本人の責任に抛らない場合も含め、理由の如何を問わず返還しません。

3. 個人情報の利用について

武蔵野美術大学大学院が入学試験実施にあたり取得した住所、氏名、その他の個人情報は、学校法人武蔵野美術大学個人情報保護基本方針に則り、入学試験業務、奨学金業務、授業料等に関する業務に利用します。

また、個人が特定されないように集計し、各種統計資料を作成します。

4. 入学試験受験時の配慮について

身体上の理由により、受験の際に配慮を希望する場合は、本学 web サイト「入学試験受験上の配慮をご希望の方へ」

[https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exam_support/]]の内容をご確認の上、以下の期日までに申請(相談)に必要書類を入学センター(e-mail:nyushi@musabi.ac.jp)までお送りください。また、出願後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)により配慮

が必要となった場合は、速やかに入学センターにご連絡ください。

2026 年 12 月 1 日(火)16:30 必着

* 入学試験に合格し、入学する場合は改めて「支援要望書」を提出いただき、新入生・所属研究室・保健室等との面談により支援内容を決定します。要望内容によっては、入学試験時には対応可能であっても入学後の継続的な対応ができかねる場合がありますことを、あらかじめご承知おください。

5. 募集人員

造形構想専攻 4 名

6. 事前面談

出願前に指導希望教員と面談し、出願書類の「入学志願書(本学所定の用紙)」に指導担当教員および指導担当教員が所属する研究室の主任教授の承諾署名を受けることが必要です。出願承諾がない場合は出願を受理しません。教員との連絡方法が不明な場合は 2026 年 9 月 16 日(水)までに入学センターへ申し出てください。

7. 指導教員一覧

クリエイティブ リーダーシップに 関する研究指導	長谷川敦士 教授
	荒川歩 教授
	岩崎博論 教授

映像・写真に 関する研究指導	クリストフ・シャルル 教授
	小口詩子 教授
	篠原規行 教授
	菅沼比呂志 教授

8. 出願資格

大学院博士後期課程入学資格(1)～(6)のいずれかに該当する者または 2027 年 3 月 31 日までに該当する見込で、2027 年 4 月 1 日までに 24 歳に達する者が出願できます。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者。
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者。

※ 出願資格(6)による志願者は、事前審査が必要です。2026 年 8 月 28 日(金)までに書類を提出して審査を申し込んでください。

「個別入学資格審査」: <https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exceptional/>

9. 博士後期課程選抜の流れ





10. 出願書類

出願時にメール提出	①入学志願書（巻末の様式を使用） (1)・(2)・(3)全てを提出してください。 事前に指導希望教員と面談し、指導希望教員および指導教員が所属する研究室の主任教授の署名、出願承諾印が捺印されたものを提出してください。出願承諾印がない場合は受理しません。 ②研究計画書（巻末の様式 4 枚全てを使用） 欄内・枚数内に収まるよう、明瞭・簡潔に記述してください。 ③提出作品自己作成証明書（巻末の様式を使用） 提出する作品(ポートフォリオ収録作品、ポートフォリオそのもの、も含む)が、本人が作成したものであることを誓約し、指導教員からその証明を取得してください(家族や友人による証明は不可)。 ④制作のテーマおよび意図 提出する作品のテーマと意図を 2,000 字程度で解説してください。(作品すべての解説を合計して 2,000 字以内)。 書式自由。 ⑤検定料払込を証明する書類 「振替払込請求書兼受領証」(郵便局の受付印入り)のコピー。 *日本国外からの支払いの場合は、教育機関向け国際送金サービス「フライワイヤー」の支払完了通知メールのプリントアウト、または支払完了画面のスクリーンショットを提出してください。 ⑥在留カードの両面のコピー(外国籍の方。日本の永住資格保持者含む) *裏面に記載がなくてもコピーを取ってください(記載がないことを確認します)。 *A4 サイズ用紙にコピーしてください。
出願時に郵送提出	⑦修士課程の修了(見込)証明書 ・外国の大学院の場合は、修了(見込)証明書に加えて、修士の学位取得(見込)証明書も提出してください。修了証明と学位取得証明が一枚にまとまっている場合は、一枚のみ提出してください。 ・日本国内の大学院を修了(見込)の場合には原則 3 か月以内発行の証明書を提出してください。 ・中国本土の教育機関を卒業された方は修了(見込)証明書に代えて以下の認証書でもかまいません。 ●CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」(卒業見込者は英文の「Online Verification Report of Student Record」) ●CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」 詳細は、CSSD(CHESICC)の Web サイト(https://www.chsi.com.cn/en/)を確認してください。発行に時間がかかる場合もあるので、十分に余裕を持って申請してください。 ⑧修士課程の成績証明書 日本国内の大学院を修了(見込)の場合には原則 3 か月以内発行の証明書を提出してください。 ⑨武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金奨励生採用願(対象者のみ) 詳細は p.10 を参照してください。 対象者は巻末の様式を使用してください。 ⑩修士制作・論文推薦書 修士制作・論文の指導教員、あるいは同研究領域の専門家による推薦書を提出してください。書式は自由ですが、巻末の書式を使用しても構いません。

原本が日本語または英語の場合		原本が日本語または英語以外の言語の場合
原本を提出	・大使館などの公的機関または日本語学校(現在日本国内の日本語学校に在籍中の場合のみ可能)で証明を行う場合	・中華人民共和国公証役場で証明を行う場合
	原本と大使館などの公的機関または日本語学校で証明した日本語または英語訳の原本の両方を提出	
出身学校が発行した日本語または英語証明書原本 印 原本	出身学校が発行した日本語と英語以外の証明書原本 印 + 公的機関または日本の日本語学校で証明した日本語または英語訳原本 原本と相違なし 〇〇日本語学校 印 原本	公证书 中華人民共和国〇〇省地方公証処 証明書 中国語原本のコピー 中国語 公証書 証明文 証明書 日本語 または 英語訳 公証書 証明文 日本語 または 英語訳 原本

11. 試験日程および提出物

	日時		試験内容、提出物内容
クリエイティブリーダーシップ系統	1月9日(土)15:00 必着 メールまたはデータ転送 宛先:nyushi@musabi.ac.jp		事前提出 「修士論文」と「修士論文の要旨」 ・ 要旨、修士論文の順に PDF ファイル一つにまとめること。 ・ 要旨と論文の表紙それぞれに氏名を表記すること。 ・ 外国語の場合は英語または日本語で提出すること。
	2月24日(水)	9:30~10:30	筆記試験 「外国語(英語)」 ○母国語が英語でない者……受験必要 ・ 辞書使用不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。 ○母国語が英語である者……受験不要 *受験の要不要は教員との面談時に確認すること。
		11:00~13:00	筆記試験 「小論文」 ○母国語が英語でない者……受験必要 ・ 辞書使用不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。 ○母国語が英語である者……受験必要 ・ 出題文は英語で書かれている。英文で回答する。 ・ 辞書使用不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。 *受験の言語は教員との面談時に確認すること。
	2月24日(水) または 2月25日(木)	個別に通知	口述試験 ・ 2月24日または2月25日のいずれか1日。 ・ 口述試験の冒頭で、これまでの研究内容(活動実績)と、博士後期課程の研究計画について 10 分程度の発表を求める。プレゼンテーションのソフトウェアを利用してよい。試験室にプロジェクタとスクリーンを用意するので、ノート PC を持参すること。 ・ 試験官用に8部、ハンドアウトを用意すること。 ・ 志願者数により調整して実施するため、集合時間や所要時間などの詳細は受験票メール送付時に通知する。 ・ 筆記試験の欠席者は受験できない。

領域	日時		試験内容、提出物内容
映像・写真系統	1月9日(土)15:00 必着 アップロード提出(右記 提出方法 参照)		事前提出 提出方法 大学 web サイト (https://www.musabi.ac.jp/admission/graduate/phd/) に掲載する、提出物アップロード用URL から「博士後期課程選抜 提出フォーム」にアクセスし、1月9日(土)15:00 までにデータのアップロードを完了させること。提出期限以降の提出は一切受け付けない。 提出物 A:写真作品の場合 「ポートフォリオ」PDF データ(100MB 以下) B :映像作品の場合 「ポートフォリオ」PDF データ(100MB 以下) 「映像作品」閲覧 URL ・提出する動画データを YouTube又は Vimeo にアップロード URL を「博士後期課程選抜 提出フォーム」上から入力する。パスワードは設定しないこと。 ・自らが制作したものに限る。出演、道具、衣装等の関わりのみの場合は本人の作品とみなさない。 ・提出できる動画は 1 本とする。規定時間 60 分に収まるよう編集すること。合計 60 分以内であれば作品数は問わない。 ・著作権の処理を済ませておくこと。 ・日本語以外の場合は日本語字幕をつけること。 C :修士論文の場合 「修士論文」PDF データ(100MB 以下) ・外国語の場合は英語または日本語で提出すること。 「ポートフォリオ」 ・作品や関連する資料等をわかりやすくまとめたもの。 ・出力時に A4 サイズとなるように PDF ファイル(100MB 以下)にまとめること。 ・日本語以外の場合は日本語解説を添付すること。 ・写真作品はポートフォリオに含める。 ・動画作品は各作品のキャプチャー画像/タイトル/上映時間/制作時期/制作スタッフ(役割&氏名)/使用ソフトウェア/制作の経緯など、作品解説のための情報を記載。集団制作の場合は特に、自分の役割を明記すること。
	2月24日(水)	9:30~10:30	筆記試験 「外国語(英語)」 ・ 冊子辞書のみ使用可。電子辞書は不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。
		11:00~13:00	筆記試験 「小論文」 ・ 辞書使用不可 ・ 鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る)、消しゴムを持参すること ※ペン、下敷きの使用は認めない。
	2月24日(水) または 2月25日(木)	個別に通知	口述試験 ・ 2月24日または2月25日のいずれか1日。 ・ 志願者数により調整して実施するため、集合時間や所要時間などの詳細は受験票メール送付時に通知する。 ・ 筆記試験の欠席者は受験できない。 ・ ポートフォリオ、研究計画について冒頭で説明を求める。このときプレゼンテーションのソフトウェアを利用してよい。試験室にプロジェクタとスクリーンを用意するので、ノート PC(HDMI 映像出力)を持参すること。

12. 選考方法

小論文および英語等の基礎学力試験、提出された論文・制作作品、口述試験による専門的な研究の能力、および研究計画書・成績証明書等の書類を総合して選考します。

13. 受験上の注意

入構	● 開門時間以降試験開始の 30 分前までに入構してください。 ● 受験生以外は入構できません。
受験票	● 受験票を印刷して持参してください。試験当日、受験票が無いと入構できません。紛失等で受験票を再発行する場合による試験時間の延長等はいきません。
時計	● 試験場には時計はありません。必要な場合は持参してください。使用する際はアラーム音等を必ず切ってください。 ● 携帯電話を時計代わりに使用することは禁止します。計算・辞書・通信・撮影等の機能がある時計や電子機器等の試験場内での使用は禁止します。スマートウォッチの使用も禁止します。
携帯電話・スマートフォン・その他の電子機器類	● 試験場内での携帯電話・スマートフォンおよびスマートウォッチ、タブレット、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他の電子機器類の使用は一切禁止します。試験場に入室する前に必ず電源を切り、カバンにしまってください。試験時間中、上記電子機器類をカバンにしまわず身につけていた場合は不正行為とみなすことがあります。
試験中	● 小論文、外国語試験の際に机上に置けるのは筆記用具、辞書(使用が認められている科目に限る)の他に鉛筆削り、時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(中身だけ取り出したもの)、目薬のみです。座布団、クッション、ひざかけ、レッグウォーマー等は無地のものに限り使用できます。 ● 英文字、地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合、脱いでもうることがあります。 ● 試験時間中に発病その他の事故などが起きたときは、試験監督へ申し出て指示に従ってください。
失格	● 受験すべき科目を 1 科目でも受験できなかった場合は失格(不合格)となり、以降の試験科目は受験できません。
昼食	● 試験が午前・午後にわたる場合は、昼食を持参してください。構外に買いに出ることはできません。
解答	● 試験の解答の所有権、著作権は本学に帰属し、解答用紙等の返却はいたしません。 ● 本学の入試資料として入学試験問題集や入学試験ガイド、本学 web サイト等に掲載、進学説明会等で展示することがあります。
感染症	● 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、結核、はしか、新型コロナウイルス感染症等)に罹患している場合は、他の受験生や試験監督等への感染の恐れがあるため、受験をお断りします。なお、この場合であっても追試験等の特別措置は行いません。

14. 不正行為

以下に例示した行為をした場合、不正行為とみなすことがあります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止、退室を命じ、以降の受験は認めません。また、受験したすべての科目の成績を無効とします。状況によっては、警察に被害届を出す場合があります。なお、入学検定料は返還しません。

- ① 出願の際に提出した書類、資料、情報等に偽造、虚偽記載(本人以外の写真を使用する等)、剽窃等があった場合。
- ② カンニング(カンニングペーパー・参考書・スケッチブック・スクラップブック等の素材集を使用する、小論文・外国語試験において他の受験者の答案等を見ること、他の者から答えを教わる等)をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 試験開始の指示の前に問題を見る、解答を始める、裏面・余白等へ書き込みを行うこと。
- ⑤ 試験中断、終了の指示に従わず、用具を持っている、解答を続けること。
- ⑥ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類をカバンにしまわず、手に持ったり、身につけていること。
- ⑦ 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・時計の音(着信音、振動音、アラーム等)を鳴らすこと。
- ⑨ 他の受験者と用具の貸し借りや私語をすること。
- ⑩ 試験に関することについて、自身や他の受験生を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑪ 試験時間中に試験監督の許可なく自席を離れること。
- ⑫ 試験場において他の受験者に迷惑となる行為をすること。
- ⑬ 試験場において試験監督の指示に従わないこと。
- ⑭ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

15. 入学手続き

合格者に対して入学手続書類の郵送はありません。

入学手続については合格発表後に出願時に使用されたメールアドレス宛に必要な事項を送りますので、内容を確認し、期限までに手続きを終えてください。

手続期限:2027年3月16日(火)

入学手続に関する注意

本学の入学手続については、特に以下の点に注意してください。

(1)

以下の場合、いかなる事情があったとしても、既に入学意思を放棄したものととして入学手続は認められず、入学の資格を失います。また、原則として、支払い済みの所定金額は放棄したものとみなし、返還しません。

・本要項に定める所定の期間内に、入学に必要な費用の支払い、またはマイページ「入学手続」上での入学手続情報の登録等の手続を部分的にしか行っていない場合、もしくは全く行っていない場合

※補欠者が入学許可された場合の手続締切は、マイページ「入学手続」上に表示されます。

・本要項に定める所定の手続期間(締切日)後に手続を行った場合

(2)

手続に関し、登録内容や書類の不備・不足の場合等を除き、大学から入学手続未了者に対して個別に催促の通知はしません。各自の責任で手続を完了してください。

(3)

所定の期間内に入学手続を完了することにより、在学契約が成立し、2027年4月1日から本学の学生の身分を取得します。

16. 在留資格「留学」の更新について

外国籍で日本に居住していない(在留資格を持っていない)方および入学までに在留期限が切れる方は、入学手続とあわせて、在留資格の取得または在留期間の更新が必要です。

「留学」の在留資格申請のためには、まず代理人(武蔵野美術大学)が、日本国内の法務省出入国在留管理庁(入国管理局)に「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行う必要があります。詳細については、合格者向け web サイトにて確認してください。

在留資格認定証明書の代理申請や在留期間更新・在留資格変更の申請に必要な資料の作成は、入学手続の完了確認後です。希望する場合は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了してください。

詳細は国際チーム(留学生担当)(e-mail:ryugaku@musabi.ac.jp)へ問い合わせてください。

なお、在留資格が「留学」である方は、修学環境の整備に関する諸費用相当分として留学生修学環境整備費(年間 363,000 円)を納入いただきます。

※ 出入国在留管理庁より「在留資格認定証明書」または、「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、入学取り消しとなる場合があります。

17. 武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金制度

武蔵野美術大学通学課程の卒業生、武蔵野美術大学大学院修士課程の修了生を対象とし、大学院博士後期課程に在学する優秀で意欲のある学生を援助することを目的として、「武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金制度」を設けています。

○対象者

武蔵野美術大学通学課程を卒業若しくは武蔵野美術大学大学院修士課程を修了又はその両方の者。

○奨学金額

年間授業料の半額を贈与(後期分授業料の免除によって代替します)。

○受給期間

3 年間(休学期間中は奨励生となることはできません)

○出願および審査等

希望者は他の出願書類とあわせて「武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金奨励生採用願」を提出してください。人物および能力を審査して、入学の可否とあわせて通知します。

なお、奨励生に採用された方は、武蔵野美術大学奨学金をあわせて受給することはできません。

18. 学費

2027年度の学費は以下のとおりです。

【在留資格が「留学」以外の方】

	前期分(入学手続時)	後期分(9月)	年間
入学金	130,000円	-	130,000円
授業料	635,000円	635,000円	1,270,000円
維持費	20,000円	20,000円	40,000円
施設設備費	60,000円～180,000円	60,000円～180,000円	120,000円～360,000円
合計	845,000円～965,000円	715,000円～835,000円	1,560,000円～1,800,000円

- * 本学大学院修士課程修了者の入学金は上記にかかわらず免除します(学部卒業者、本学大学院修士課程の研究科は不問です)。
- * 本学学部卒業者の入学金は上記にかかわらず65,000円とします(学部卒業後に他の大学院修士課程修了した者、造形学部通信教育課程卒業者を含みます)。
- * 博士後期課程奨励奨学金制度の適用者は後期授業料635,000円が免除されます。
- * 本学では在籍学生を対象として学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に一括加入しています。保険料として合計3,620円(予定)を入学手続時に徴収します。

【在留資格が「留学」の方】

	前期分(入学手続時)	後期分(9月)	年間
入学金	130,000円	-	130,000円
授業料	635,000円	635,000円	1,270,000円
維持費	20,000円	20,000円	40,000円
施設設備費	60,000円～180,000円	60,000円～180,000円	120,000円～360,000円
留学生修学環境整備費	181,500円	181,500円	363,000円
合計	1,026,500円～1,146,500円	896,500円～1,016,500円	1,923,000円～2,163,000円

- * 本学大学院修士課程修了者の入学金、留学生修学環境整備費は上記にかかわらず免除します(学部卒業者、本学大学院修士課程の研究科は不問です／大学院研究生は含まれません)。
- * 本学学部卒業者の入学金は上記にかかわらず65,000円とします。また、本学学部卒業者の留学生修学環境整備費は上記にかかわらず免除します。(学部卒業後に他の大学院修士課程を修了した者、造形学部通信教育課程卒業者を含みます／学部研究生は含みません)。
- * 博士後期課程奨励奨学金制度の適用者は後期授業料635,000円が免除されます。
- * 本学では在籍学生を対象として学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に一括加入しています。保険料として合計3,620円(予定)を入学手続時に徴収します。

施設設備費(6か月分)

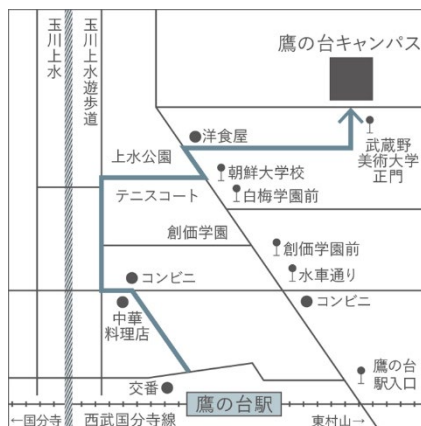
研究領域	施設設備費
クリエイティブリーダーシップ系統	60,000円
映像・写真系統	180,000円

19. 武蔵野美術大学(鷹の台キャンパス)交通案内

西武国分寺線「鷹の台」駅より 徒歩約 20 分

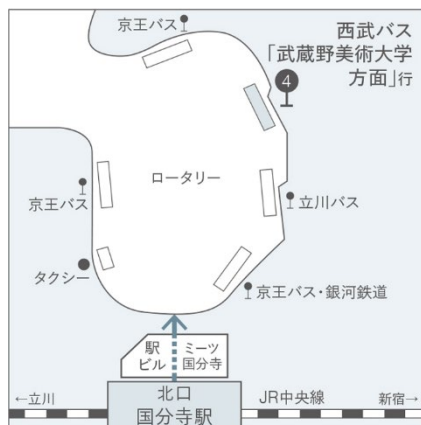
JR 中央線「国分寺」駅乗換、「東村山」行(2 駅目)

西武新宿線「東村山」駅乗換、「国分寺」行(2 駅目)



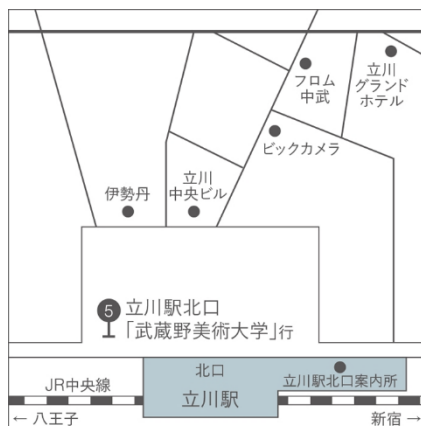
JR 中央線「国分寺」駅より バス約 25 分

「国分寺駅北口」4 番停留所より「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行



JR 中央線「立川」駅より バス約 25 分

「立川駅北口」5 番停留所より「武蔵野美術大学」行



①入学志願書(1)

* 大学記入_____

志望研究科	研究科		証明写真欄 ・無帽 ・正面 ・背景無し ・縦4cm、横3cm	
志望研究領域 * 造形研究科のみ	研究領域			
氏名 * 外国籍の者はカタカナ				
氏名(フリガナ)				
氏名(英字) * 外国籍の者のみ				
国籍 * 外国籍の者のみ				
生年月日	年 月 日		性別	☐ 男性 ☐ 女性
修士の学位または 専門職学位を 取得した大学院	☐国立 ☐公立 ☐私立 ☐日本以外の大学院(所在国・地域: _____) 大学院の名称: _____ 年 月 修了・修了見込			
本人現住所・連絡先	〒 _____ 携帯電話 (mobile) _____ E-mail: _____			
緊急連絡先 現住所が国外の者は 日本国内の連絡先を 記載すること	氏名 _____ 本人との関係 _____ 〒 _____ 携帯電話 (mobile) _____ E-mail: _____			
博士後期課程の研究課題 (なるべく簡潔に)				
希望指導教員による 出願承諾署名・印	氏名 _____ 印 _____ 印が難しい場合は署名のみ	希望指導教員が所属する 研究室の主任教授による 出願承諾署名・印	氏名 _____ 印 _____ 印が難しい場合は署名のみ	

①入学志願書(3)

今までの作品、論文発表

[illegible]

②研究計画書(1/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
博士後期課程における研究テーマ	
修士課程までの研究経過	

②研究計画書(2/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
本学での研究を希望する理由	
指導を希望する教員、およびその教員に指導を希望する理由	
博士後期課程修了後の進路または計画	

②研究計画書(3/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
博士後期課程における研究の内容および特色 ※先行研究に対する自身の研究の有するオリジナリティについてを含めて記入すること。	

②研究計画書(4/4)

氏名 *外国籍の者はカタカナ	
3 年間の研究計画 ※入学後に「制作」と「論文執筆」に併せて取り組む場合は、「制作」、「論文執筆」それぞれの計画を分けて記入すること。	

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

③記入例

2027 年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私(誓約者)が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A3 サイズファイル 1冊	2026 年 1 月
2	修了制作	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2026 年 1 月
3	絵画作品	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2025 年 12 月
4	立体作品	〇〇cm × 〇〇cm × 〇〇cm	2025 年 12 月
！募集要項をよく読み、指定されている提出物を記入すること			以上 4 点

2027 年 1 月 6 日

志望研究科・専攻 造形研究科 造形芸術専攻

誓約者氏名(自署) ○○○○ ○○○○



捺印またはサイン

<作成証明>

上記の作品等(ポートフォリオ含む)はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。

なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2027 年 1 月 6 日

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(指導教員等) ○○○○ ○○○○



捺印またはサイン

受験生との間柄 修士課程指導教員

連絡先(e-mail または電話番号) XXXXXXXXX@XXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

⑨

様式第 1 号
武蔵野美術大学大学院博士後期課程 奨励奨学金奨励生採用願

ふりがな	
氏名	印
生年月日	年 月 日生(満 歳) 男・女
現住所	〒 電話番号:
武蔵野美術大学 学長 殿 武蔵野美術大学大学院博士後期課程奨励奨学金規則により 奨励生として採用していただきたくお願いいたします。 記入日 年 月 日 本人氏名 印 保証人氏名 印 本人との続柄 保証人生年月日 年 月 日 保証人現住所 保証人電話番号 保証人 E-mail	

⑩造形構想研究科推薦書様式

推 薦 書

武蔵野美術大学大学院 造形構想研究科 博士後期課程 造形構想専攻

入学志願者 _____ を下記のとおり推薦します。

年 月 日

推薦者 所属・職名 _____

氏名 _____

入学志願者の研究適正、研究業績、修士論文等の研究内容等について記述してください。

*修士制作・修士論文推薦者は、修士課程指導担当教員または同研究領域の専門家。

*推薦書は封緘のうえ志願者本人へ渡すか、入学センターへ期限内に直接ご提出ください。

郵送提出 〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736
武蔵野美術大学入学センター 大学院博士後期課程志願書受付係
電話:042-342-6995

メール提出 nyushi@musabi.ac.jp
武蔵野美術大学入学センター 大学院博士後期課程志願書受付係

郵便切手

速達

1

8

7

8

5

0

5

速達・簡易書留【出願書類在中】

二つ折り厳禁

東京都小平市小川町 1 丁目 736 番地
武蔵野美術大学
入学センター
大学院博士後期課程選抜受付係

大学院博士後期課程選抜 出願期間 2027 年 1 月 6 日～1 月 9 日（必着）

住所
氏名
電話番号